

対象国の条件: 石炭・ガス火力発電の高効率化、低炭素化、環境対策の推進を検討している国

研修コース番号: 201984586-J002

案件番号: 201984586

主分野課題: 資源・エネルギー/エネルギー供給

副分野課題:

使用言語: 英語

**案件概要**

超々臨界圧石炭火力発電 (USC)、先進超々臨界圧石炭火力発電 (A-USC) や石炭ガス化複合発電 (IGCC)、およびガスコンバインドサイクル発電 (GTCC) 等の高効率火力発電の導入推進のメリットや、環境対策の重要性を理解するとともに、日本における先進的な火力発電技術を紹介し、自国への技術・設備導入に向けた検討を行うために必要な情報・知見を提供する。

目標/成果	対象組織/人材	
<p><b>【案件目標】</b> 超々臨界圧石炭火力発電 (USC)、先進超々臨界圧石炭火力発電 (A-USC) や石炭ガス化複合発電 (IGCC)、およびガスコンバインドサイクル発電 (GTCC) 等の高効率発電技術および環境対策を理解し、自国での技術・設備導入が検討される。</p> <p><b>【成果】</b> ・超々臨界圧石炭火力発電 (USC)、先進超々臨界圧石炭火力発電 (A-USC) や石炭ガス化複合発電 (IGCC)、およびガスコンバインドサイクル発電 (GTCC) の効率、低炭素化への意義を理解する。 ・高効率火力発電に係る主要機器及び環境対策設備 (発電機、除塵機、脱硝、脱硫機等) とその意義を理解する。 ・高効率火力発電所の運用・維持管理に必要な技術やコストを理解する。 ・高効率発電技術・設備の導入のためのアクションプランを作成する。</p>	<p><b>【対象組織】</b> 電力・エネルギー政策の計画・立案を担う中央省庁、電源開発を推進する電力公社等</p> <p><b>【対象人材】</b> 〈職位〉 電力開発計画や電源開発事業の意思決定に深く関与する中堅幹部</p> <p>〈その他〉 大卒もしくはそれと同等の学歴を有し、英会話・英語読解力に堪能な者</p>	
<p style="text-align: center;"><b>内 容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジョブレポート発表</li> <li>・講義・視察: 超臨界圧石炭火力発電 (SC)、超々臨界圧石炭火力発電 (USC)、先進超々臨界圧石炭火力発電 (A-USC)、石炭ガス化複合発電技術 (IGCC)、ガスコンバインドサイクル発電 (GTCC) 技術の紹介</li> <li>・講義・視察: 関連技術 (高効率ガスタービン、ボイラー他) の紹介</li> <li>・高効率発電施設の整備、運用、維持管理に係る計画、技術の紹介</li> <li>・参加国の火力電力事情と高効率化に向けての課題に関する討議</li> <li>・アクションプラン作成討議、発表</li> </ul>	<p><b>本邦研修期間</b></p>	<p>2019/8/25～2019/9/18</p>
	<p><b>担当課題部</b></p>	<p>産業開発・公共政策部</p>
	<p><b>所管国内機関</b></p>	<p>JICA九州</p>
	<p><b>関係省庁</b></p>	
	<p><b>実施年度</b></p>	<p>2018～2020</p>
<p><b>主要協力機関</b></p>	<p>公益財団法人 北九州国際技術協力協会</p>	
<p><b>特記事項 及び ホームページ</b></p>		